

# 令和8年度6月補正予算について

## 1 一般会計

(1) 補正額	971,855千円
(2) 補正後の予算額	80,171,855千円

◎は「主な事業」として別紙資料に再掲

[主な内容]

- ふるさと文化基金・褒賞基金・ふるさとみどり基金・奨学基金の積立て（補正予算書22・26・28頁）
- 災害対策用資機材整備事業費の増額（寄附金充当）（補正予算書22頁）
- 過年度国県支出金等返還金の増額（補正予算書22頁）
- 市民税賦課事業費の増額（補正予算書22頁）
- 自治会活動活性化事業費の増額（補正予算書22頁）
- 障害福祉サービス費等支給事業費の増額（補正予算書22頁）
- 民間保育所建設費補助事業費の増額（継続費の追加）（補正予算書22頁）
- ◎生活保護費差額追加支給事業費の計上（補正予算書24頁）
- ◎予防接種事業費の増額（補正予算書24頁）
- 和留沢地区水道施設整備費補助金の計上（補正予算書24頁）
- ◎ごみ収集運搬事業費の増額（債務負担行為の追加）（補正予算書24頁）
- 城址公園管理運営事業費の増額（補正予算書24頁）
- ◎建築指導事務費の増額（補正予算書26頁）
- ◎道路管理事業費の増額（補正予算書26頁）
- 魅力ある道路空間づくり事業費の増額（補正予算書26頁）
- 河川・水路維持事業費の増額（寄附金充当含む）（補正予算書26頁）
- 復興事前準備推進事業費の計上（補正予算書26頁）
- ◎小田原駅西口広場概略設計事業費の計上（継続費の追加）（補正予算書26頁）
- ◎路線バス等移動手段確保維持対策事業費の増額（補正予算書26頁）
- 学校図書購入費の計上（寄附金充当）（補正予算書28頁）
- 郷土文化館分館松永記念館管理運営事業費の増額（補正予算書28頁）

## 2 水道事業会計

(1) 補正額	1,000千円
(2) 補正後の予算額	10,211,614千円

[主な内容]

- 建設改良費の増額（寄附金充当）（補正予算書42頁）

### 3 病院事業会計

(1) 補正額	33,840千円
(2) 補正後の予算額	29,928,585千円

[主な内容]

- 企業債の減額（補正予算書54頁）
- 補助金の増額（補正予算書54頁）
- 市立総合医療センター建設基金寄附金の増額（補正予算書54頁）
- 市立総合医療センター建設基金の積立て（寄附金充当）（補正予算書54頁）

### 4 下水道事業会計

(1) 補正額	1,000千円
(2) 補正後の予算額	11,493,172千円

[主な内容]

- 営業費用の増額（寄附金充当）（補正予算書64頁）
- 建設改良費の増額（寄附金充当）（補正予算書64頁）

### 5 全会計合計

(1) 補正額	1,007,695千円
(2) 補正後の予算額	215,886,226千円

## 6月補正予算計上の主な事業

<p>まちづくりの目標「いのちを大切にす小田原」</p> <p style="text-align: right;">(事業費：547,800千円)</p>	
事業内容	<p>平成25年(2013年)に行われた生活扶助費の基準改定を違法とした最高裁判決への対応として、国が定めた新たな基準と当時の基準との差額分を対象者に追加支給する。</p> <p>また、感染症の発症や重症化を予防するため、新型コロナウイルスワクチンの定期接種に加えて、令和8年(2026年)10月から新たに高用量インフルエンザワクチンの定期接種を実施する。</p> <p>◎生活保護費差額追加支給事業費の計上 &lt;466,618千円&gt; 【事業の詳細は5頁を参照】</p> <p>◎予防接種事業費の増額 &lt;81,182千円&gt; 【事業の詳細は6頁を参照】</p> <p style="text-align: right;">(補正予算書24頁)</p>

<p>まちづくりの目標「自然環境の恵みがあふれる小田原」</p> <p style="text-align: right;">(事業費：4,950千円)</p>	
事業内容	<p>ごみ収集車両運行管理システムを導入することにより、ごみ収集車の運行状況を市ホームページ上で公開するとともに、集積されたデータをもとに、収集コースの効率化・平準化を図る。</p> <p>◎ごみ収集運搬事業費の増額(債務負担行為の追加) &lt;4,950千円&gt; 【事業の詳細は7頁を参照】</p> <p style="text-align: right;">(補正予算書24頁)</p>

## まちづくりの目標「安心して暮らすことができる小田原」

### 事業内容

都市情報公開システムを導入し、建築計画概要書等の都市情報をインターネット上で公開することにより、サービスの向上と窓口業務の省力化を図る。

また、台風や局地的豪雨による冠水への初動対応を強化するため、市道 0084 及び市道 0005 のアンダーパス部に監視カメラを設置する。

さらに、小田原駅西口広場等の概略設計や隣接街区との相互利用の検討を行うほか、公共交通不便地域のニーズと実情に応じた移動支援策を選定するため、前羽・下中地区において A I オンデマンド交通の実証運行を実施する。

◎建築指導事務費の増額

【事業の詳細は 8 頁を参照】

◎道路管理事業費の増額

【事業の詳細は 9 頁を参照】

◎小田原駅西口広場概略設計事業費の計上（継続費の追加）＜20,636 千円＞

【事業の詳細は 10 頁を参照】

◎路線バス等移動手段確保維持対策事業費の増額 ＜45,000 千円＞

【事業の詳細は 11 頁・12 頁を参照】

(補正予算書 26 頁)

# 生活保護費差額追加支給事業

## 1 目的

平成 25 年（2013 年）から実施された生活扶助基準改定が令和 7 年（2025 年）6 月 27 日の最高裁判決により違法と判断されたことへの対応として、対象者に対して生活保護費を追加支給する。

## 2 事業概要

生活扶助改定の影響があった平成 25 年 8 月 1 日から令和 8 年（2026 年）3 月 31 日までの間に生活保護を利用していた世帯に対し、平成 25 年 8 月に定められた生活保護基準により支給された額と国が新たに定める基準により算定される額との差額を支給する。

生活保護利用中の世帯には申請不要で支給し、廃止世帯には申請書を受理した後に支給する。

## 3 予算額

466,618 千円

内訳 事務費 50,956 千円 廃止世帯の申請受付、コールセンター委託料など  
扶助費 415,662 千円 利用中世帯分 2,872 世帯、廃止世帯分 2,822 世帯

## 4 財源

事務費：生活困窮者就労準備支援事業費等補助金（国 10/10）

扶助費：生活保護費等国庫負担金（国 3/4）

## 5 スケジュール

令和 8 年 6 月

システム改修

令和 8 年 9 月上旬

利用中世帯への支給

令和 8 年 9 月～令和 9 年 3 月

廃止世帯の申請受付・支給

問い合わせ先

福祉健康部生活援護課生活援護係

電話 33-1463

# 新型コロナウイルスワクチン及び 高用量インフルエンザワクチン予防接種事業

## 1 目的

定期接種（B類疾病）に位置付けられた新型コロナウイルスワクチン接種及び高用量インフルエンザワクチン接種について、感染症の発症や重症化を予防し、市民の健康維持等を図るため、令和8年10月から実施する。

高用量インフルエンザワクチン接種は、従来の標準量インフルエンザワクチン接種に加え、令和8年度から新たに実施する。

## 2 事業概要

	新型コロナウイルスワクチン	高用量インフルエンザワクチン※
接種対象者	*65歳以上の方 *60歳～64歳で一定の基礎疾患を有する方	*75歳以上の方
接種費用 (市民負担額)	*60歳～74歳…6,800円(予定) *75歳以上…5,100円(予定)	3,900円(予定)

※高用量インフルエンザワクチンは標準量インフルエンザワクチンの4倍の抗原量を含有しており、発症予防・重症化予防効果が高いとされている。

※インフルエンザワクチン接種を希望する75歳以上の方については、標準量または高用量のどちらかを選択し接種することができる。

## 3 予算額

81,182千円

問い合わせ先  
福祉健康部健康づくり課保健医療係  
電話 47-0828

# ごみ収集運搬事業 (ごみ収集車両運行管理システム運用委託料)

## 1 事業概要

ごみ収集車両運行管理システムを導入することにより、ごみ収集車の運行状況をリアルタイムで把握し、市ホームページ上で市民への情報提供を行うとともに、集積されたデータをもとに、収集ルートの効率化・平準化を図る。

また、効率化により収集に係る車両や人員を削減し、令和9年度以降に新たな市民サービスとなる高齢者や障がい者を対象とした戸別収集(ふれあい収集)を実施していく。

## 2 予算額 (令和8年度債務負担行為設定)

令和8年度	4,950千円
令和9年度～令和10年度	14,972千円
令和11年度	3,093千円 (4年合計 23,015千円)

## 3 財源

地域未来交付金 (デジタル実装型 TYPE A) (国1/2) ※令和8年度のみ

## 4 スケジュール

令和8年6月～	委託事業者の選定 (プロポーザル)
令和8年8月	契約締結
令和8年11月～	システム運用開始

問い合わせ先 環境部環境事業センター収集係 電話 34-7325
--

# 建築指導事務 (都市情報公開システム構築委託料)

## 1 目的

建築計画概要書等の都市情報をインターネットで公開し、自宅や会社から迅速に情報を閲覧できる環境を整備することで、事業者の負担軽減といったサービスの向上と窓口業務の省力化を図る。

## 2 事業概要

本市で現在運用している公開型GIS「わが街ガイド (Navi-0)」を活用し、令和9年度(2027年度)から建築計画概要書等の都市情報をインターネットで公開する。

公開予定の都市情報

所管課	都市情報の種類	公開中	公開予定
都市計画課	都市計画用途地域図	○	○
	屋外広告物規制図		○
建築指導課	指定道路図	○	○
	建築計画概要書		○
	定期報告概要書		○
	記載事項証明書		○
	道路調書(一部)		○
開発審査課	開発登録簿		○

## 3 財源

地域未来交付金 (デジタル実装型 TYPE A) (国 1 / 2)

## 4 スケジュール

令和8年度 (2026年度)								
7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
●	→					→		→
契約締結	システム構築作業					データ確認作業		試験運用 (4月公開)

問い合わせ先  
都市部建築指導課指導係  
電話 33-1434

# 道路管理事業

(市道 0084・0005 道路監視システム構築委託料 (扇町一丁目ほか地内))

## 1 目的

市道 0084 及び市道 0005 のアンダーパス部において、台風や局地的豪雨による冠水への初動対応を強化するため、常時監視が可能な道路監視システムを構築する。

## 2 事業概要

監視カメラ設置 (通信システム含む) 1 式

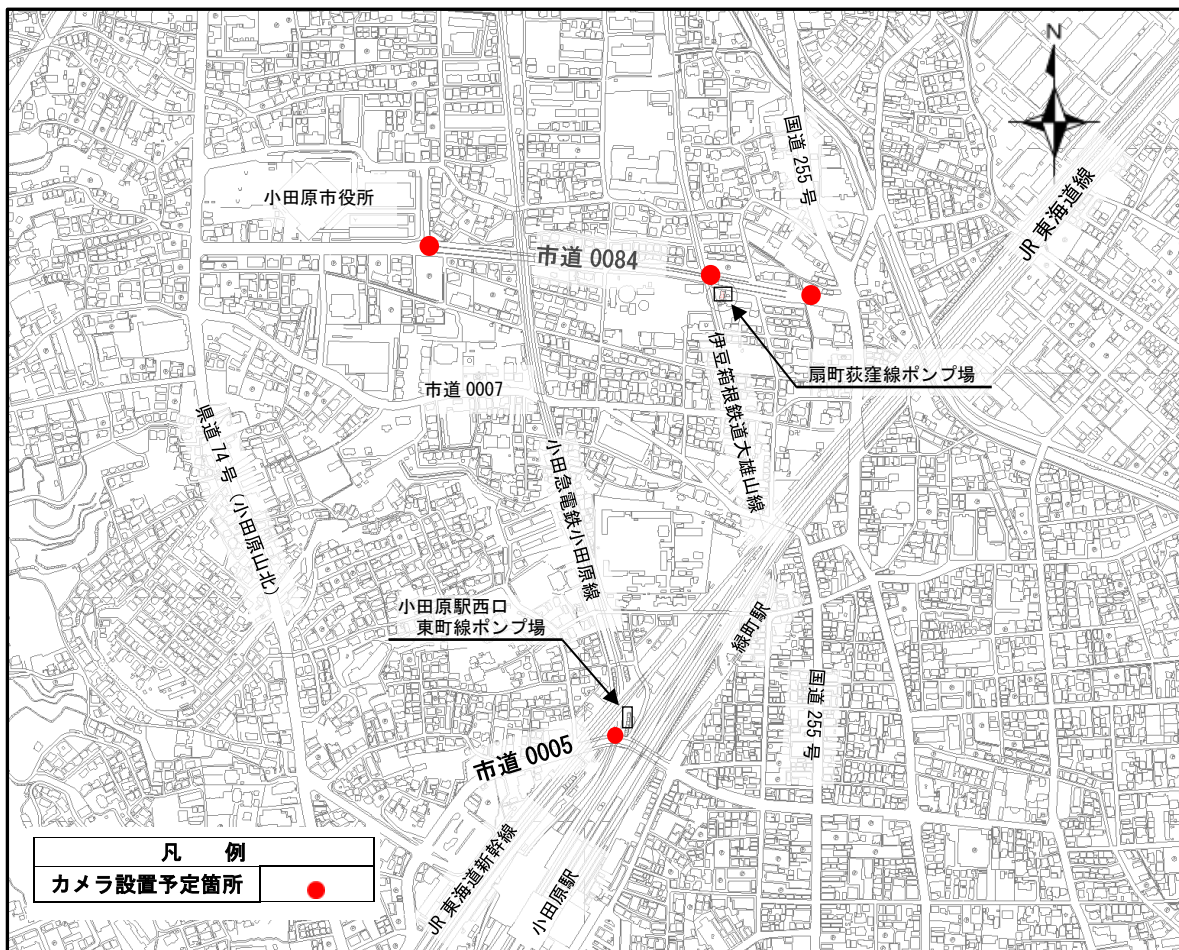
市道 0084 3 基

市道 0005 1 基

## 3 財源

都市構造再編集中支援事業費補助金 (国 1/2)

## 4 位置図



問い合わせ先

建設部道水路整備課維持係

電話 33-1646

# 小田原駅西口広場概略設計事業

## 1 目的

小田原駅西口地区において、西口広場の再編と隣接街区の再開発との一体的な整備を視野に、令和7年度（2025年度）に実施した、現況広場の利用者数や、公共交通の利用状況、利用者アンケートなどの利用実態調査の結果を踏まえ、令和8年度（2026年度）から令和9年度（2027年度）にかけて、交通事業者や関係権利者等との協議を行いながら、駅前広場等の概略設計や、広場と隣接街区との相互利用の検討を行う。

## 2 事業概要

	主な業務内容
令和8年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 歩行者や車両など、交通手段別の動線の検討</li> <li>・ 公共交通の乗降場や歩行空間など、各機能の配置の検討</li> <li>・ 車両の軌跡を踏まえた広場出入口交差点の検討</li> <li>・ 隣接敷地の建物計画を想定した交通広場と建物との平面利用や立体利用などの検討</li> <li>・ 各種関係団体との協議</li> </ul>
令和9年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 令和8年度の検討を継続実施</li> <li>・ 各種関係団体との協議</li> <li>・ 一体的整備案を含め3案程度の広場再編案の作成</li> </ul>

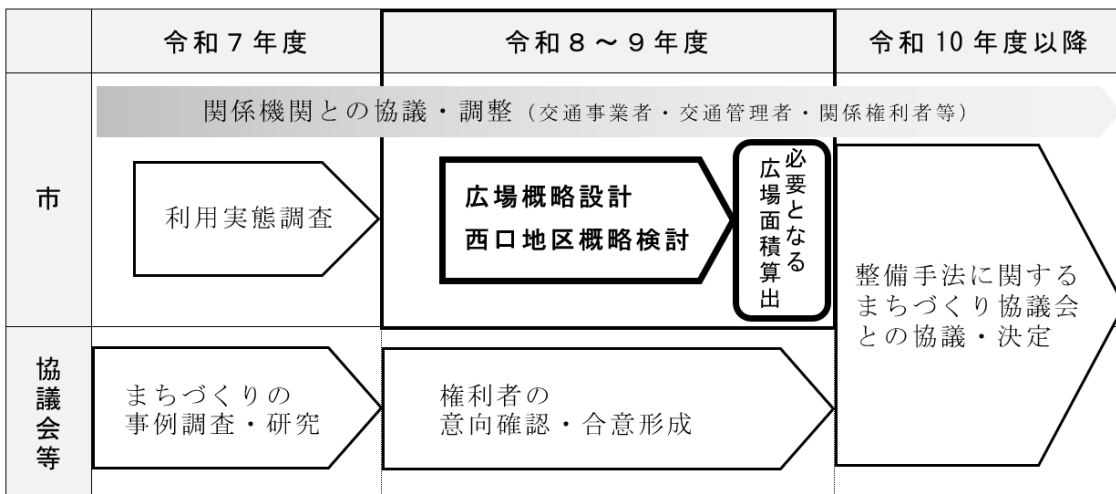
## 3 予算額

20,636千円（令和8～9年度継続事業 継続費総額 45,375千円）

## 4 財源

都市構造再編集中支援事業費補助金（国1/2）

## 5 西口地区整備スケジュール



問い合わせ先  
 都市部都市計画課市街地整備推進係  
 電話 33-1652

# 路線バス等移動手段確保維持対策事業 (A I オンデマンド交通実証運行委託料)

## 1 目的

公共交通不便地域において、地域のニーズと実情に応じた移動支援策を選定するため、実証事業を行い、効果や実現可能性について検証する。

## 2 事業概要

これまで実施してきた「おだタク・おだチケ実証事業」において、「目的地まで直接移動したい」、「タクシーを呼んでも配車に時間がかかる」などの意見があり、商業施設、医療機関、駅、公共施設など、生活に必要な拠点を循環する移動手段のニーズに対応するとともに、地域に適した移動支援策を選定するため、A I オンデマンド交通の実証運行を実施する。

なお、運行エリアは、まずは、路線バスの減便や路線廃止による交通空白の懸念がある前羽・下中地区で実施する。

## 3 予算額

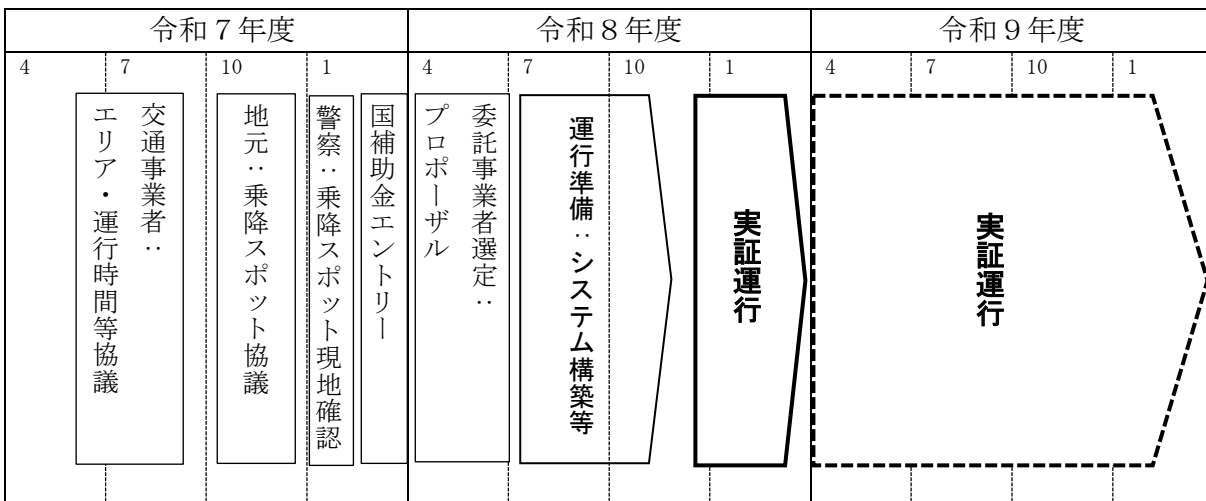
45,000 千円 システム初期導入、運行委託、周知活動、乗降スポット設置等

## 4 財源

地域公共交通確保維持改善事業費補助金 19,217 千円

※補助率 500 万円まで定額、それを超える場合は 2/3 (上限 1 億円)

## 5 スケジュール



## 6 運行エリア等

運行地区：前羽・下中地区（エリア外に国府津駅、山近記念総合病院）

【運行区域：東西 2.5km×南北 3km 程度】

運行日時：毎日 9 時～17 時（6 時～9 時、17 時～20 時は路線バスが運行）

運行台数：2 台

<運行エリア図および交通管理者と協議済みの新設乗降スポット>



※乗降スポットは、今後、地元調整及び交通管理者協議の上、更に追加していく予定

問い合わせ先  
 都市部地域交通課地域交通係  
 電話 33-1405